

# 長野県教員研修体系(原案)

長野県教育の理念と教員のミッション及び教員に求められる資質能力



しあわせ信州

〈めざす子ども像〉

知・徳・体が調和し、社会的に自立した人間

【長野県の学校教育の理念】

子どもの内なる力を引き出す教育

地域と共に歩む学校

本県の教員は、学習の主体者である子どもを中心においた教育を求めてきた。それは子どもが内なる力を存分に発揮し、子ども自らが学ぶ教育であり、一人ひとりの個性的な学びが尊重される教育であった。このことは、本来子どもは限りない可能性を秘めており、常に学びたいという欲求をもつ存在であるという子ども観に立脚している。

本県は、今後も子どもの視点に立ち、一人ひとりの子どもが輝く子どもを中心にした教育を求めていく。

また、本県の学校は、教育に関心の高い地域住民により支えられてきた。しかし、昨今は「学校は敷居が高い」と地域住民が距離を感じているという現実がある。子どもたちの「生きる力」を育み、本来もっている力を伸ばす学校は、地域と共にある学校である。保護者や地域住民が「学校づくり」に参画し、地域と共に歩む学校が、本県の求める学校像である。

これらのことが実現するとき、子どもは知・徳・体が調和し、社会的に自立した人間に成長していくものであると考える。

## 【長野県の教員のミッション】

### 「守り 育み 伸ばす」

子どもの命と安全を守り 夢を育み 可能性を伸ばす

### 「学び続ける」

専門性を磨き、人間力を高めるために学び続ける

子どもが、様々な人とかかわりながら、主体的に学んでいくためには、安全安心な学校や学級が不可欠である。学校管理下において、子どもの命と安全を守ることは、何よりも優先して教員に課せられるべきものである。

子どもの夢を育むことは、子どもたちが将来にわたって豊かに生きていく上で重要なことである。また、子どもは一人ひとりが無限の可能性を有する存在であり、その可能性の芽を発見し、知・徳・体をバランスよく伸ばしていくことが教員のなすべきことである。

教育は、教員と子どもの人格の触れ合いによってなされるものである。そこで教員は、専門性を磨き、人間力(社会を構成し運営すると共に、自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力)を高めるために、学び続けていく必要がある。

「深雪せる 野路に小さき沓の跡 われこそ先に行かましものを」と歌った我が県の先達林芋村先生の心を、本県の教員は常にもっていたい。

## 【長野県の教員に求められる資質能力】

1. 高い倫理観と使命感
2. 確かな人権意識と共感力
3. 地域社会と連携・協働する力
4. 目標実現に向け、柔軟に対応する力
5. 「教育のプロ」としての高度な知識や技能

	資質能力	資質能力の説明
1	高い倫理観と使命感	① 社会の秩序と規律を遵守し、信頼される存在 ② 教員としての責務の自覚
2	確かな人権意識と共感力	① 全ての人の人権を尊重する態度 ② 子どもや保護者の思いや悲しみを感じ取る力
3	地域社会と連携・協働する力	① 地域社会の発展に主体的に寄与する態度 ② 郷土を愛し、地域の自然、歴史、文化及びそこに住む人々を尊重する態度
4	目標実現に向け、柔軟に対応する力	① 知識や技能を常に刷新しようとする意欲や態度 ② 同じ目的に向かってチームで対応する力
5	「教育のプロ」としての高度な知識や技能	① 教科指導、生徒指導、学級経営を的確に実践する力 ② グローバル化、情報化、特別支援教育などの新たな課題に対応できる力